

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 内藤 まゆみ	(学部) 経済学部
1 重要事項 ◆研究 ・辞典の翻訳 平成 25 年出版予定の心理学に関する辞典の 1 章を翻訳担当した。現在は初回の翻訳が終了した段階であり、今後刷り上がりの確認を行う予定である。 ・協同学習の教育効果に関する研究 演習授業において導入した「討論を通じた学習 (Learning Through Discussion: LTD)」が学習者の動機づけや理解に及ぼす影響について実証的に検討した。討論が学習意欲や学習内容の主体的理解に望ましい影響を与えることは実感されているが、この実感をデータによって裏付けることを目的とした。その結果、討論の回数を重ねると発言が増えること、他の学習者の意見に対する質問がより深いテキスト理解につながる可能性が示された。この結果は平成 25 年度の高崎経済大学論集に掲載予定である。 ・最新の研究に関する情報収集 質的研究に関する勉強会への出席、および論文講読を担当した。質的研究は心理学における新たなアプローチとして関心が高まっている。従来の量的手法とは理論的前提、研究デザイン、分析手法が大きく異なっており、相当の知識習得が必須であり、そのための学習を行った。 また、メディア心理学に関する読書会に出席、論文講読を担当した。メディア心理学は情報通信技術の進展に伴ってその研究対象と領域を拡大している。この成長著しい分野における動向把握のため、読書会を始めとする知識の更新を行っている。 ◆教育 ・教科書の執筆 担当授業「心理学」に関する教科書の作成を計画し、出版社との打ち合わせを行った。現在は本書のコンセプト及び構成に関する確認を終了した段階である。 ◆社会貢献 ・日本パーソナリティ心理学会理事に就任 ・日本パーソナリティ心理学会大会活性化委員に就任 ・NPO 法人との協同事業 育児支援を行っている NPO 法人と協力して 0 歳児とその保護者のための講座を開設する予定である。現在は、講座の時期、テーマ設定に関して打ち合わせをしている段階である。来年度には第 1 回の講座を開く予定である。	
2 その他の事項	